

名は体を表す？ “体”は“名”となる…？

この野鳥は、目が“金色”、羽が“黒色と白色”ですから、漢字で書くと、そのままズバリ“金黒羽白(キンクロハジロ)”といえます。

写真上で、右前の体全体が黒色で脇腹が白色、後頭部にポニーテールのような冠羽があるのが雄で、左後ろの胸から脇腹が茶褐色で淡紋があるのが雌です。こうして見ると、雄の体の特徴が名前の由来のようです。

しかし、写真下の羽ばたいている雌をご覧ください。羽先は白色をしています。雄も羽先は同じく白色ですから、「ハジロ」を漢字で書くと「羽白」とも考えられます。金色の目をしていて、雌雄とも体全体は黒っぽく羽先が白いので、漢字で書くとやっぱり“金黒羽白”。

キンクロハジロは冬鳥です。ヨーロッパ北部やシベリアで繁殖し、冬になると南下し越冬します。一部が九州以北に飛来し、日本で越冬します。大きさは40～45cmぐらいで、雄の方が一回り大きいようです。

冬期にいつも陶史の森で見られる訳ではなく、一日で姿を消してしまうこともあります。

旅から旅を重ねる、渡り鳥なんですね。



森の日記

イノシシにご注意ください！

大人気のローラー滑り台手前の地面をよくご覧ください。「モコモコ・ポコポコ」です。ほかにも、ウッドイードム周辺、第1駐車場周辺、せせらぎ公園などにもたくさんあります。

それらはイノシシが地中のミミズなどを食べるために、鋭い牙や鼻で土を掘り起こした跡です。以前は、通る人がまばらな遊歩道脇が少し掘り返されている程度でした。一般的にイノシシなどの野生動物は、人の気配やにおいがするところは近づきません。しかし、最近になって家族連れで大にぎわいのちびっ子広場の中まで、イノシシが食べ物を求めて荒らしているのです。

活動が活発になる夕方から明け方は特に危険です！皆さん、お気をつけください！



教室のご案内

2月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
2月26日(日) 午前9時～11時30分
厳冬の野鳥を観察します。

3月

シイタケ教室 (要申込・定員30人)
3月5日(日) 午前9時～11時30分
原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学びます。※原木は1家族1本

自然教室 (自由参加)

3月12日(日) 午前9時～11時30分
春を待つ木の芽や草の芽を調べます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

3月26日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、ご希望の方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

